

② 憲法をめぐる対立と運動の激化

① 自由民権運動がもり上がると、右の資料のような憲法の私案が民間の人々によって数多くつくられた。これらの私案をまとめて何といいますか。
(私擬憲法)

五日市憲法草案

部分要約

45条 日本国民は、各自の権利や自由を達成することができ、他からこれをさまたげてはならない。国の法律はこれを保護しなくてはならない。

② 政府内で岩倉具視や伊藤博文らと対立し、明治14年の政変で政府の役職を解任された人物はだれですか。
(大隈重信)

③ ① 1881年に板垣退助が結成した政党と、② 1882年に大隈重信が結成した政党を、それぞれ何といいますか。

① (自由党) ② (立憲改進黨)

(1) 右の資料は、自由民権運動の演説会のようなすえをかいている。資料から読み取れる、自由民権運動家への政府の対応について「集会」「言論活動」の2語を使って書きなさい。



集会などの言論活動に対して規制を行った。

又は、

集会に介入し、演説を中止させるなど、自由民権運動の言論活動を弾圧した。